

山武中学校・山武南中学校統合準備委員会 第6回PTA・通学部会要点記録

1. 日 時 平成30年7月12日(木) 19時03分から21時06分
2. 場 所 さんぶの森交流センターあららぎ館 多目的室
3. 出席部会員 18名(欠席10名)
4. 次 第 (1) 開会
(2) あいさつ
(3) 前回協議結果の確認
(4) 議題
①体操服のデザイン・素材検討について
②検討事項について
③制服の詳細検討について
④トレーニングウェア、体操服の詳細検討について
⑤その他について
(5) 閉会
5. 事務局説明者 学校再編推進室長ほか

議題についての概要は次のとおり。

前回協議結果の確認

【製造メーカーの説明】

- 前回決定事項(制服、トレーニングウェア)
→質問なし

①体操服のデザイン・素材検討について

【事務局の説明】

- 採用する体操服のデザイン候補
- 採用する体操服の素材候補 ほか

【意見の概要】

- ・決ではなく、現時点の方向性を聞きたい。挙手をお願いします。
→3つのタイプのうち、3つのタイプに挙手あり。
- ・両校とも、ワイシャツ・ブラウスの下に体操服を着るという考え方でいいか。
→そのとおり。
- ・学校としては、色が入っても大丈夫なのか。
→首周りの色は、白が望ましい。抑えた色であればいい。
- ・デザインというのは、どういうものを選べばいいのか。ワイシャツ・ブラウスの下にも着るが、本来は体操服であり、真っ白だと下着のよう。素材、デザイン、色の順で決めた方がいいのではないか。
- ・素材、デザイン、色の順で決めたい。素材の決を採りたい。挙手をお願いします。
→素材は、3つのタイプのうち、全員が挙手をしたタイプとする。
- ・素材は決定したタイプで、他のタイプのデザインと組み合わせることは可能か。
→可能。
- ・当初、校則の話が出ていたと思うが、学校側として色が入られるかを、先に確認する必要がある

あるのではないか。

- ・学校名は入らないのか。透けてしまわないか。
 - 学校名を正面から見える位置にしない学校もある。ワンポイントにする方法もある。
 - 山武中は正面にデザインが入っているが、それほど目立たない。
- ・ベストを着ないと、体操服に入っている色が見えるかもしれない。
 - デザインが入ると、透けないということはない。体操服としてのデザイン性を重視するのか、インナーとして着ることを優先するのかのどちらかを決めないと、議論は進まないのではないか。
- ・部活動の朝練に始まり、終日同じ体操服を着てほしくないのが、学校には着替えさせてほしいと伝えている。保護者が一番気にしているのは、どこまで指導してくれるのかということではないか。真っ白だと寂しいイメージもある。
- ・以前から、ポロシャツの提案をしている。校外活動、部活動などの移動着として着て、体操服は体操服として着れば、一度は着替えることになる。
- ・部活動や体育の時間も、着替える場所がないのが現状ではないのか。着替えの時間や場所を確保できるのか。
 - 着替えの時間や、場所の確保は難しいと思う。新校で、学校として何を求めるのかが、一番大きなところではないのか。
- ・白を基調としたデザインにすると、2つのタイプに絞ることができる。素材は先ほど決まったタイプで、色を白とした場合、デザインは2つのうちどちらがいいか、挙手をお願いしたい。
 - 挙手は同数
- ・ワイシャツ・ブラウスの下に体操服を着るか、着ないかについては、次の議題に関係するので、あわせて協議してはどうか。
- ・素材は決まったタイプで、白を基調に考える。それ以外は、関係する次の議題とあわせて、協議することでよろしいか。
 - 了承

②検討事項について

【事務局の説明】

○前回決定デザイン（ジャージ上下）の色違いサンプルについて ほか

【意見の概要】

—ジャージ上下の色—

- ・色について、方向性を聞きたい。挙手をお願いする。
 - 3つのタイプの色のうち、2つのタイプに挙手あり
- ・意見のなかった色を除き、決を採りたい。挙手をお願いする。
 - ジャージ上下の色は、挙手の多かったタイプの色とする。

—ハーフパンツ—

- ・主に夏に履くので、涼しく見える色の方がいい。上が白であれば、なおさら涼しく見える。
- ・現状は、ハーフパンツの上に学生ズボン、スカートを履くことになっている。
- ・スカートの下にハーフパンツを履くと、どのようなイメージになるか。
 - スカートを膝頭が隠れるサイズに設定すれば、比較的大きなサイズを買ってもハーフパンツは見えないと思われる。
- ・色の決を採りたい。挙手をお願いする。

→ハーフパンツの色は、2つのタイプの色のうち、挙手の多かったタイプの色とする。

—その他—

- ・ジャージ上下だが、着心地が気になるので、別のタイプの生地に変更できないか。
→全身を変更すると、発色と機能が変わり、値段も上がると思われる。
- ・前は、デザインだけ決定して、生地などは要検討で終わったと認識しているが。
→前は、デザインと素材の決を採った。基本的には、決の結果で進めると認識している。
- ・話が戻りながらも、決めていくのは大事なこと。再検討した方がいいという意見があれば、事務局とも調整しなければならない。
- ・アンケートで一番優先度が高かったのは、ストレッチ性があり、動きやすく、着心地がいいというものが6割を占めた。実際に着用した人は、別のタイプの方が着心地がいいと思っているのではないか。ただ、話を戻すと、先に進まないこともある。
- ・別の素材の方が肌ざわりが良く感じたので、再検討してもらえないか。見た目よりも、着心地が大事ではないか。
- ・再検討した方がいいという方は、挙手をお願いしたい。
→挙手多数につき、ジャージ上下は再検討する。
- ・デザインはそのままで、素材の問題になるのではないか。
→素材を変えると色味が変わるが、近いものは用意できる。素材の機能・価格から選ぶなら元の提案の組み合わせを、素材から選ぶなら選んだデザインで、素材を変えるのがいいのではない。違いは、値段と発色が変わること。
- ・値上がりとは、何がどうなるのか。
→ジャージ上下で値段が上がる。ハーフパンツも上がることになる。
- ・次回は再度検討し、方向性を決めることでよろしいか。
→了承

③制服の詳細検討について

【事務局の説明】

- 夏服仕様について
- 検討事項について ほか

【意見の概要】

—夏服 ズボン・スカート—

- ・冬服と夏服は、同じ柄にしてよろしいか。
→了承

—ポロシャツ—

- ・ポロシャツ導入の可否については、この部会で決めていいのか。
→事前に中学校に取ったアンケート結果を踏まえ、提案している。
- ・導入について、挙手をお願いしたい。
→「導入しなくてもいい」が挙手多数
- ・事前に中学校に確認したということだが、どのような考え方なのか。
→学校によって意見が違う。生徒にとってどちらがいいかを考えた結果の事務局案である。
- ・着用の可否の前に、自由なのか、揃えるのかを決める必要があるのではないか。
→着用する場合は、全員揃っての着用を考えている。
- ・学校が認めるかどうか。指導や校則の問題となり、部会の決定事項からは外れるのではないか。

→意見が割れたということ、学校に報告したい。

- ・部会で制服などを決めて採用される流れだが、新校での方針が決まっている必要があるのではないか。

- ・ポロシャツを着用できる場合、着る選択と、着ない選択ができるといい。

- ・半数を超える、ポロシャツは導入しなくてもいいという意見を、部会の意見としてよろしいか。

→了承

- ・現在、ポロシャツを採用していない。制服や体操服のデザインを部会で決めるのは問題ないと思うが、現在ないものを導入するには戸惑いがある。ポロシャツの導入については、来年度に要望があれば検討することでどうか。

→賛成。山武南中の制服も、途中から希望があつて導入されたと聞く。後からでも問題ない。

—ニット—

- ・ベストだけではなく、冬用セーターも、学校指定という考えでよろしいか。

→そのとおり。

- ・ベストやセーターの指定品を定めるかどうか、挙手をお願いしたい。

→挙手多数につき、ニットは指定品を用意する。

—ネクタイ・リボン—

- ・山武南中の名札は、学年ごとに色があるので、名札以外の学年色はいらないと思った。

- ・山武中の名札は全員同じで、女子のリボンの色が学年で違う。

- ・制服として考えてほしいが、ネクタイ・リボンに学年色が必要かどうか、挙手をお願いする。

→「学年色は必要ない」が挙手多数

- ・名札を付けて登下校するわけではないので、何かしらの識別ができるといい。何かあった時に、学年の職員がすぐに対応できる。

- ・顔を見れば学年がわかるので、学年色の区別がなくてもいい。

- ・夏は、ネクタイ・リボンを付けないケースも多い。付ける指導をしないのであれば、学年がわからないこともあり得る。

- ・学年色について、決を採りたい。挙手をお願いする。

→挙手多数につき、ネクタイ・リボンの学年色は用意しない。

【まとめ】

—トレーニングウェア—

- ・体操服の素材は、全員が挙手したタイプとする。

- ・ジャージ上下は、再度検討とする。

—制服—

- ・ズボンとスカートは、冬服と夏服の柄を同じにする。

- ・ポロシャツの導入はしなくてもいいという意見が多かったことを学校へ報告する。

- ・ニットやベストは、指定品を定める。

- ・ネクタイ・リボンは、学年色を採用しない。